

令和5年度 学校図書館活用実践報告

新潟市立笹口小学校

1 指導の重点

- ・一人一人が読書を楽しんだり，調べ学習をしたりするために，進んで図書館を利用する。
- ・読書や読み聞かせを通して交流したり，感動体験をしたりすることで，豊かな心情を養う。
- ・学習・情報センターとしての図書館の役割を知り，図書資料（情報）を活用しながら積極的に知識や視野を広げる。

2 今年度の取り組み

(1) 読書センターとして

○図書委員会の活動

- ・図書委員おすすめの本

図書委員が作成したおすすめの本の紹介文，ポスターを図書館に掲示した。おすすめの本として選ばれた本を多くの目に触れる場所に展示し，興味をもった児童が借りやすいようにした。借りる本に迷った児童の助けになり，このコーナーから借りていく児童が多かった。

- ・読み聞かせ・新刊紹介(放送)

給食の時間にテレビ放送で絵本の読み聞かせを行ったり，新刊の内容を紹介したりした。読み聞かせや新刊紹介で放送された本を借りに来る児童が多く，予約をして待ってもらうほどだった。

- ・図書委員体験会

図書館のこと，図書委員会の仕事内容等をもっと知ってもらいたいという思いから，体験会を行った。カウンターで本のバーコードをスキャンしたり，返却された本を棚に戻したりする活動を行った。体験した児童からは「楽しかった。」「高学年になったら図書委員になりたい。」という感想があり，より図書館に親しみをもってもらえる機会になった。

○読書旬間

図書館への来館が増え，貸し出しが増えるような取組の工夫を行った。

- ・読書郵便

はがきに宛名とその人におすすめの本の紹介を書き，図書館にあるポストに投函すると，相手に届くという内容で行った。読書郵便を書きたくて読書をしたり，図書館に来館したりする児童が多かった。

- ・くじ引き

日常の取り組みとして，貸し出しカードにスタンプが貯まると，サイコロを投げ，その出目によって「借りられる冊数プラス券」やしおり等がもらえる取り組みを行った。読書旬間中はそれに加え，くじ引きを実施した。普段よりプラス券等がもらいやすくなり，1人あたりの貸し出し冊数が増えた。

- ・教職員のおすすめの本

教職員のおすすめする本と紹介文を展示した。興味をもって紹介文を読んだり，本を借りていったりする児童が多かった。



○1, 2年生読み聞かせ

毎週水曜日の朝学習の時間に、保護者や新潟こども保育カレッジのボランティアの方から読み聞かせを行ってもらった。1, 2年生の児童は水曜日を毎週楽しみにしており、多くの本に触れるきっかけとなった。

(2) 学習センター・情報センターとして

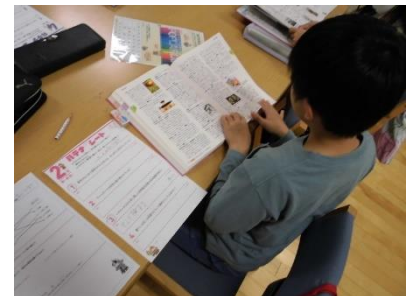
○学年別おすすめの本

それぞれの学年の学習内容に合わせたおすすめの本を、1, 2年生はそれぞれ25冊、3, 4年生は20冊、5, 6年生はそれぞれ15冊選び、学年別おすすめの本コーナーとしてまとめて配列している。おすすめの本の題名一覧を貸し出しカードの裏面にも載せてあり、全て借りて読んだ人には賞状を授与している。また、おすすめの本の中で面白かった1冊についての感想を書いてもらい、廊下に掲示している。

おすすめの本 5年生			
No.	分類	本の名称	冊数
1	819-か	魔女の宅急便	12冊
2	919-さ	ルドルフとイッパイアッテナ	4冊
3	919-な	クワガタクワガタ	11冊
4	919-ふ	ぼっぺん先生の日曜日	11冊
5	919-み	よだかの星	11冊
6	919-む	マヤの一生	11冊
7	923-た	マサルダは小さな天才	11冊
8	923-は	夏のバディントン	4冊
9	923-ろ	ローンと魔法の地図	11冊
10	923-な	ドリトル先生アフリカゆき	11冊
11	948-や	たのしいムーミン一家	10冊
12	948-ゆ	やまし村の子どもたち	10冊
13	あおそ	その手に1本の旗本を	4冊
14	911-た	谷川俊太郎少年詩集 ときん	4冊
15	480-し	オオカミ王ロボ	11冊

○百科事典の使い方

4年生国語「百科事典での調べ方」の授業を図書館にて司書と担任のTTで行った。児童は、百科事典で調べるときのポイントを学び、ワークシートに従って夢中になって言葉を調べていた。図鑑、年鑑、白書、新聞など様々な資料があることも知り、調べたいことに合わせて、適切な資料を選ぶ必要があることを学んだ。



○成果物の掲示

4年生国語「伝統工芸のよさを伝えよう」の学習で、児童がそれぞれ興味を持った伝統工芸品について調べ、作成したリーフレットを図書館に掲示した。

○中学校区連携の取り組み

それぞれの学校の実態について情報共有する中で、東新潟中学校区の学校では、「情報の取り扱い方」に課題があることが分かった。例えば、調べたことをまとめる学習の際に、図書やインターネットから文章をそのままコピーしてくる、自分の考えと他者の主張の区別がつかない文章を書いているなどといった事例である。そこで、著作権や情報モラルを守る意識を育成する活動を小中で連携して取り組むことにした。

著作権ってほんどう? 情報活用能力を高めるために

この本はなにかな? 著作権とは、自分の著作物や創作活動の権利を保護することです。著作権を尊重することは、創作活動を促すことにつながります。

著作権とは

- 文章や音楽、絵画などの著作物を作った人が持つ権利のこと。
- 著作権は、法律で定められており、許可なく他人の著作物を複製したり、インターネット上で公開したりすることはできません。
- 著作権は、創作活動の権利を保護することにつながります。

著作権の尊重

- 他人の著作物を複製したり、インターネット上で公開したりする場合は、必ず著作権者の許可を得る必要があります。
- 著作権を尊重することは、創作活動を促すことにつながります。

著作権の活用

- 著作権を尊重することは、創作活動を促すことにつながります。
- 著作権を尊重することは、創作活動を促すことにつながります。

著作権の活用

- 著作権を尊重することは、創作活動を促すことにつながります。
- 著作権を尊重することは、創作活動を促すことにつながります。

・ 情報教育に関する掲示物の作成

著作権や情報モラルに関する掲示物を中学校区の学校で連携して作成し、図書館に掲示した。各学級(3年生以上)にも掲示し、国語の授業を中心に適宜活用できるようにした。

本の出典

書名 『 』

著者・作者・編集者: 『 』

出版社・発行所: 『 』

発行年: 年

インターネットの出典

サイト名 『 』

作った人: 『 』

URL: 『 』

サイトを見た日: 年 月 日

・ 出典カードを活用した調べ学習

児童が調べたことをまとめる際、引用した図書やサイトを東新潟中学校区共通の「出典カード」に書いて成果物に貼り付けるように指導を行った。タブレットでまとめることが多いため、ロイロノート用と、紙媒体でまとめる場合にも使えるように、紙の出典カードも作成した。

出典カードを活用した授業

<p>学年・教科・単元</p>	<p>4年生 国語 もしものときにそなえよう (社会 自然災害にそなえるまちづくり とリンクして実施)</p>
<p>ねらい</p>	<p>自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。</p>
<p>指導計画</p>	<p>全12時間 第1次 社会 自然災害にそなえるまちづくり(自然災害の種類、県や市の対応・取組、地域・家庭の対応・取組、自分にできることを考える) 第2次 国語 もしもの時にそなえよう(社会の学習で調べたことを基に、自然災害にそなえることについて、自分の考えを理由や事例を明確にして説明文に表す)</p>
<p>授業の実際</p>	<p>タブレットを使って情報収集をし、説明文を作成した。最後に出典カードを添付した。「作った人」「URL」が分からないときは、どんな言葉で検索したのかを書くようにした。</p> <div data-bbox="416 909 847 1346" style="background-color: #f8d7da; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>はじめ 自分の考え</p> <p>A 私は、水害について調べたことを通して、〜が大切だと考えました。</p> <p>B 水害に対して大切なことは〜だと思います。</p> <p>私は、水害について調べたことを通して、天気予報や気象状況に気をつける事、非常食や持ち出す物などを準備しておく事、避難場所や避難経路(ハザードマップ)を確認しておく事、大雨や台風に合わせて家のまわりを点検整備しておく事などの普段の心がけを準備しておくことが大切だと考えました。</p> </div> <div data-bbox="847 909 1031 1346" style="background-color: #fff3cd; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>はじめ(問いの文)</p> <p>水害に対して、どのように備えればよいのでしょうか。</p> </div> <div data-bbox="1031 909 1498 1346" style="background-color: #d1ecf1; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>はじめ(話題について)</p> <p>水害について話題を書きましよう</p> <p>今年の夏はとても暑く雨がそれほど降らない地域もありました。台風が起きてしまうととても危険な大雨が起きてしまう地域や、水害が起きてしまっている地域もありました。</p> <p>そんな危ない、いつ起こるか分からない自然災害について、今回は水害について調べてみましょう。</p> </div> <div data-bbox="97 1346 416 1794" style="background-color: #fff3cd; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>終わり(まとめ、自分の考え)</p> <p>このように、〜です。</p> <p>〜の時は、〜が大切だと考えます。</p> <p>みなさんも、〜してはどうでしょうか。</p> <p>このように、自然災害はいつ起こるか分からないので防災グッズなど防災用品を備えて準備して自然災害が起こってしまった時には避難訓練を思い出して高い所へ逃げるなどの事を大切に考えた方が良いでしょう。</p> <p>みなさんも、水害や自然災害に備えて避難経路やハザードマップをみておくこと災害時に役に立ちます。みなさんも家族と自然災害について備えてみてはどうでしょうか。</p> </div> <div data-bbox="416 1346 1031 1794" style="background-color: #d1ecf1; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>中 理由または例と説明②</p> <p>A もう一つ理由があります。それは、それは、津波、洪水、水害などのために避難訓練をしておくこと自然災害が起きてしまった時に役にたつからです。</p> <p>それから、「Google」によると、非常食や持ち出す物などを準備しておく事、避難場所や避難経路(ハザードマップ)を確認しておく事、大雨や台風に合わせて家のまわりを点検整備しておく事がたくさん命が救えることができると考えました。</p> </div> <div data-bbox="1031 1346 1498 1794" style="background-color: #d1ecf1; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>中 理由または例と説明①</p> <p>A なぜなら〜だからです。</p> <p>B 例えは〜ということが分かりました。</p> <p>なぜなら水害(自然災害)はいつ起こるか分からないからです。自分が住んでいる地域に大雨がいつ降るのか、わかるために天気予報を確認しておくことやハザードマップを確認しておくこと良いと思いました。</p> <p>「Googleの水害に備えて」によると、天気予報や気象情報に気をつけること」と、のっていました。</p> </div>
<p>インターネットの出典 サイト名『 Google 水害に対して、どのように備えればよいか』 作った人： URL： サイトを見た日： 2023年 9月21日</p>	

3 今年度の実践を振り返って

- ・図書委員会の活動や、読書旬間等，児童に「この本を読みたい」「図書館に行きたい」と思ってもらえるような活動を行うことができた。
- ・著作権，情報モラルについてのポスターと，出典カードを活用することで，児童も職員も調べ学習をするときに「出典を明記すること」や「信頼できるサイトの情報を使うこと」など情報モラルへの意識が高まった。
- ・今までレファレンスの記録だったものを今年度は，学校図書館年間指導計画として学年ごとに作成した。来年度は学級担任と司書で，学校図書館年間指導計画を確認しながら，より様々な単元で図書資料を活用できるようにしたい。
- ・今年度，「学習センター」「情報センター」の役割を意識して，新たな取り組みを行うことができた。今後も学校図書館として，学習の幅を広げたり，情報スキルを学んだりできる場となるような取り組みを考え，実践していきたい。